



千葉県の最新医療情報紹介

# 間質性膀胱炎に対する 水圧拡張術

## 治らない頻尿への突破口！

高齢化が進む今、排尿のトラブルを抱えている人は多く、治療をしているのに治らない頻尿に悩む人が増えているそうです。そんな辛い悩みの突破口となり得る最新治療について、千葉県済生会習志野病院の三上和男医師にお話を伺いました。

**治らないのは、膀胱炎ではないからかも…？**

頻尿や残尿感、排尿時の痛みなどが特徴的な症状である膀胱炎は、膀胱に入った細菌が増殖し、膀胱の粘膜が炎症を起こ



千葉県済生会習志野病院  
泌尿器科医長  
三上和男 医師

すことが原因で、圧倒的に年配の女性に多い病気です。女性は男性よりずっと尿道が短いので、細菌が膀胱まで侵入しやすいのです。

膀胱炎なら、細菌感染が原因であるため、尿をとって細菌の有無を検査すればすぐに診断がつき、抗生物質を内服すると1日〜2日ですぐに症状が落ち着き始め、5日〜1週間で治ることがほとんどです。

ところが中には、受診して膀胱炎の治療を始めても、症状が一向に改善しないという方がいらっしゃいます。

そんな場合に疑ってみるべき病気の一つに、「間質性膀胱炎」があります。

**間質性膀胱炎とは？**

間質性膀胱炎とは、膀胱のふくらみが悪く、尿がたまつてくると膀胱に痛みや不快感を生じる病気です。排尿すれば痛みや不快感は消えてすっきりしますが、膀胱に少ししか尿をためられないため、重症になると1日に何十回もトイレに行くこ

とがあります。

症状が膀胱炎と似ているのでこういう名前が付いていますが、実は全く別の病気です。尿検査をしても膀胱炎のように細菌は見つからず、細菌感染が原因ではないため、抗生物質を飲んでも症状は改善しません。

また、似たような排尿トラブルに「過活動膀胱」があります。過活動膀胱は、膀胱の筋肉が勝手に収縮してしまつたため排尿を我慢できず、漏らしてしまつたりする症状のことを言います。間質性膀胱炎のような膀胱の痛みは無く、膀胱の収縮を抑える薬（抗コリン剤）を服用することで改善できます。

しかし間質性膀胱炎は、実はまだ原因などが解明されていないばかりか、この病気の存在自体があまりよく知られていません。そのため、発見できずに適切な治療を受けられていない人が、多く潜在していると考えられます。

**水圧拡張術で、**

**長年の悩みが劇的に消える人も**

泌尿器科では、まず尿の細菌検査を行い、膀胱炎でないことがわかつた場合には、超音波検査などで膀胱がんや膀胱の結石などの有無を調べます。

それらの検査で異常が見つからない場合には、患者さんに「排尿日誌」を付けていただきます。

排尿日誌とは、排尿のたびに計量カップで尿量を測り、1回の尿量、1日の尿量、気がついた点などを記録していただく日誌です。

排尿日誌から間質性膀胱炎が疑われた場合は、診断と治療を兼ねて、「水圧拡張術」という治療を行います。

水圧拡張術は、萎縮した膀胱を水圧で広げる最新治療です。(二〇一〇年に健康保険適用となりました)

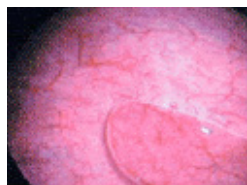
正常な膀胱は我慢すると500cc程度

### このような症状が持続する場合は 間質性膀胱炎かもしれません

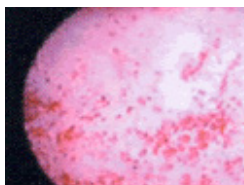
- 膀胱炎といわれ抗生物質を飲んだがよくなりません。
- 膀胱炎と思って病院にいったが、尿には異常が無いと言われた。
- 過活動膀胱と言われ薬を飲んでいくよくなりません。
- 尿の回数が多く1回の尿量が常に200cc以下である。
- 尿がたまると下腹部が痛くなり、排尿すると痛みが消える。

### 水圧拡張術で水を入れた時の膀胱内の様子

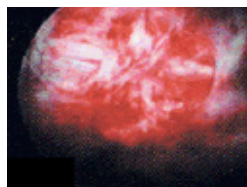
正常な膀胱と違って、間質性膀胱炎の場合は出血や亀裂、潰瘍などが見られる。



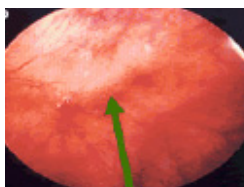
正常所見



点状出血



亀裂



潰瘍

### 排尿日誌

尿の量や回数などを調べる排尿日誌。5日から1週間かけて記録してもらったデータは、排尿障害の状態を把握するための重要なデータとなる。

までためることができません。間質性膀胱炎の患者さんですと200ccもためられず我慢しようとする痛みが生じます。水圧拡張術とは下半身麻酔をかけ、尿道から入れた内視鏡で中の様子を見ながら、膀胱の中にゆっくりと水を入れていきます。正常の膀胱ですと水を入れていっても粘膜の変化は起こりませんが、間質性膀胱炎の場合は、膀胱内の小さな血管から出血したり、粘膜が裂けたりして出血してきます。

その様子から、間質性膀胱炎の診断をすると同時に、水圧で膀胱をふくらませ尿をためる容量を増やし、治療することができます。水圧拡張術を行うと、過半数の方は劇的なまでに症状が改善し、術後はじめての排尿から痛みを全く感じなくなったと喜ばれる方がたくさんいらっしゃいます。その一方、半年ほど経つとまた同じような症状が再発してしまう人も多く、大きな課題となっています。間質性膀胱炎はまだまだわからないことの多い病気ですが、水圧拡張術で長年の悩みから解放される方も非常に多いので、膀胱炎がなかなか治らない場合は、ぜひ一度、泌尿器科の専門医を受診してみてください。